

事務事業名	公共下水道汚水施設管理事業	所属部	水道局	所属課	下水道課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	整備維持グループ	課長名	内田俊行
	施策名	(15)下水道の整備	担当者名	安部和吉	電話番号	0854-42-3471 (内線) 4611
	目的:対象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らす。	予算科目	会計 2:5:2:5:0:1 款 大:事:業 大:事:業 項 目 中:事:業 中:事:業 1:0:0:5:0:1 業 業
	基本事業名	(043)下水道施設の維持管理	意図	下水道に排水できるように維持管理する。	事業名	公共下水道汚水施設管理事業 公共下水道汚水施設管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	・維持管理業務委託 ・処理施設の電気料、水道料、電話料、保険料等の支払い ・処理施設の故障対応及び修繕等

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動) ・木次・三刀屋公共下水道施設の維持管理費 (処理場1箇所、中継ポンプ68箇所)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動) ・木次・三刀屋公共下水道施設の維持管理費 (処理場1箇所、中継ポンプ72箇所)			
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
ア	処理場	箇所	1	1	1	1
イ	中継ポンプ	箇所	68	68	68	72
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	① 公共下水処理施設 ② 下水道利用者 ③ 汚水排水	ア 処理人口	人	8,982	8,867	8,659	8,503
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	① 適正に維持管理する ② 生活環境を改善する ③ 汚水を浄化する	ア BOD除去率	%	98.3	98.3	99.9	99.9
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
需用費 19,273千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
役員費 976千円		県支出金	千円				
委託料 37,757千円		地方債	千円				
使用料及び賃借料 30千円		その他	千円	69,467	71,589	65,248	83,308
工事請負費 7,212千円		一般財源	千円				
備品購入費 0千円	事業費計 (A)	千円	69,467	71,589	65,248	83,308	
計 65,248千円	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	1,200	1,200	1,200	
	人件費計 (B)	千円	4,892	5,198	5,088		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	74,359	76,787	70,336		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・平成29年度、雲南クリーンセンター汚泥共同処理施設からの希釈脱離液の水処理に伴う木次・三刀屋浄化センター増設工事(機械・電気設備4池目)が28年度に完成した。	・雲南市における効率的な汚水処理施設の整備・運営管理を計画的に実施していくため、平成29年度に雲南市汚水処理施設整備構想を策定した。これに基づき公共下水道と隣接する農業集落排水との連携・統合を図る。	・議会からは、下水道経営の安定化に向けた対策についての意見がある。 ・下水道使用についての注意事項をもっとPRすべきとの意見がある。

事務事業名	公共下水道汚水施設管理事業	所属部	水道局	所属課	下水道課
-------	---------------	-----	-----	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 適正な施設の維持管理を行っており、BOD除去率は高水準で推移しておりこれ以上の向上余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由 汚水施設の維持管理であり、汚水流入がある限り廃止・休止はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
A 目的 妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 →	理由 雲南クリーンセンター汚泥共同処理施設整備事業 農業集落排水事業(処理施設) 雲南クリーンセンター汚泥共同処理施設整備事業により、木次・三刀屋浄化センターの脱水設備等の修繕・更新が不要となり経費の縮減が図れる。 汚水処理施設整備構想による農業集落排水施設の統合に取り組む。	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない		
B 有効性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 維持管理業務を行う上で必要最小限の経費にて実施しており、現段階ではこれ以上の削減余地はない。ただし、今後、雲南クリーンセンターの活用や施設の統合を進めることで、市全体では事業費の削減が期待できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 既に外部委託をしており、現在でも最低限の人員及び業務時間で業務を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 下水道使用料を賦課しているため公平である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) ・適切な維持管理により、処理施設の運転に支障をきたさなかった。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																			
	削減	維持	増加																		
向上	●																				
維持			×																		
低下		×	×																		
<p>・経年劣化により、修繕費用が増大の傾向にあるため、適正な維持管理や予防保全に努め、施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図らなければならない。</p> <p>・雲南クリーンセンターと木次・三刀屋浄化センターは、隣接することを最大限活用することとし、双方で水処理・汚泥処理の負担軽減を図り、事業の効率化を目指す。</p> <p>・下水道法の一部改正に伴い、下水管渠のうち、腐食のおそれのある箇所について5年に1回以上の頻度での点検が義務化された。</p> <p>・下水処理施設の負担軽減のため、使用についての注意事項を幅広く使用者へ周知する必要がある。</p> <p>・雲南市汚水処理施設整備構想に基づき、農業集落排水処理区との統合を図ることで市全体の汚水処理の維持管理費の軽減を図る。</p> <p>・令和2年度から地方公営企業法を適用した。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																				